



- ・ 沖縄の交通問題とは？
- ・ どうすればいいの？
- ・ 交通政策って何するの？

仕事の紹介

沖縄県企画部 交通政策課

みなさんも知っているとおり、沖縄県は交通渋滞が激しく、その影響もあり、バスが時間通りに来ないなど、公共交通の利便性・信頼性が大きく損なわれています。

その結果、自家用車を利用する人がますます増え、渋滞がさらに悪化する一方、公共交通の利用者はどんどん減っていくという「負の連鎖」が続いてきました。

交通政策課では、この「負の連鎖」を断ち切るため、①沖縄県の将来の交通体系のビジョンを策定したり、②自動車の効率的な利用や公共交通機関の利用を促進する総合的な施策の実施に取り組んでいます。

また近年は、科学技術の進歩により、自動運転や空飛ぶ車、Maasと呼ばれる多様な交通モードを統合するサービスが登場していることから、これらの先端技術の県内導入について検討したりしています。

交通政策課は、このように、陸上の交通問題を改善しながら、空路と海路を合わせ、海洋島しょ県・沖縄の希望と活力ある発展を図る仕事をしています。



那覇～コザを約60分で結ぶ
基幹急行バス（でいごライナー）



バスの定時性を確保する
国道58号のバスレーン

沖縄県での取り組み事例

① 沖縄県総合交通体系基本計画

- ・ 沖縄県の陸・海・空の総合的な交通計画
- ・ 離島を含めた交通ネットワークの構築
- ・ 鉄軌道を含む
新たな公共交通システムの検討

② TDM施策推進アクションプログラム

1. OKICA・バスなび沖縄の導入
2. 基幹急行バス(でいごライナー)の導入
3. バスレーンの延長・拡充
4. バス車両・バス停のグレードアップ
5. キャンパスバスの実証実験
6. パーク&ライドの利用促進
7. シェアサイクル利用促進
8. わったーバス党による広報



←わったーバス党
党首：あさとゆうこ 幹事長：あさとばん

Message



土木の仕事は、一言で言うと、「リアル・マインクラフト」です。世界中のあらゆる素材を利用して、人間にとって住みやすい環境を創造します。特に近年は、仮想空間における設計・シミュレーションなど、土木技術のバーチャル化が急速に進んでいます。

西里 雅範

青雲高校 / 九州大学卒

土木の仕事は、地球で人間が生活する以上、絶対になくなることはありません。しかも今後は、ドローンやロボットの活用など、まだまだ面白くなります。

将来性